

辻 泰弘 国会ニュース

つじ やす ひろ Kokkai News 2010年10月27日 NO.94

参議院厚生労働委員会(10月21日)質疑報告

辻 泰弘：政治とは人間の幸せの追求。生きること、生計を立てることが
幸せの根底。それらを支える医療と雇用の幸せ度を高めることが課題。



◎ 産業・雇用の海外流出を防ぐための財政・税制対策を!!

辻 泰弘：円高。廃業増大。物づくり脆弱化。産業立地・雇用促進政策を。
細川 厚生労働大臣：工場立地支援で成長と雇用を。雇用促進税制検討。

◎ 卒業後も3年程度は新卒扱いとするなどの若年者雇用対策の強化を!!

辻 泰弘：仕事なく、結婚できず、子供持てない社会に明るい将来なし。若年者雇用対策強化を。
細川 大臣：厳しい状況下で正社員になれないのは大変問題。青少年雇用指針を改正し周知徹底。

◎ 雇用維持の機能を果たしている雇用調整助成金の要件緩和の拡充を!!

辻 泰弘：要件緩和策は3年前対比15%減。当時は1ドル100~110円台。2年前対比要件も必要。
細川 大臣：リーマン・ショックと円高で生産減の企業助成。厳しい雇用保険財政。限られた財源で支援。

◎ 労働・医療などの規制緩和は慎重に！ 派遣法の規制緩和が格差を拡大!!

辻 泰弘：労働・安全・衛生・環境・生命・医療などの社会的規制緩和慎重に。緩和で格差拡大。
細川 大臣：社会的規制緩和は慎重に対応すべき。行き過ぎた規制緩和で非正規雇用が増加。

◎ 「物づくり日本」に職業訓練重要！ 能力開発機構廃止時の雇用に万全を!!

辻 泰弘：日本は物づくり産業中心。職業訓練重要。雇用・能力開発機構廃止の際の雇用確保を。
細川 大臣：職業訓練非常に重要。 政務官：廃止時の人員削減は自然減で。雇用に最大限配慮。

◎ 経済・産業の利潤追求の論理を、営利目的でない医療に持ち込むな!!

辻 泰弘：医療ツーリズム、国際医療交流と言われるが、医療は利潤追求の経済・産業の論理とは違う。
細川 大臣：利潤追求は金持ち選別で皆保険損う。国内医療提供し外国人も。混合診療解禁不適切。

◎ 救急・産科・小児・外科、歯科の今年度診療報酬プラス改定が効果!!

辻 泰弘：10年ぶり今年度プラス改定で病院収入増、歯科も光見えてきたと評価。今後も配慮を。
保険局長：国民が求める医療提供の第一歩。中医協で影響検証。安心の医療に次期改定へ議論。

◎ 公共サービスに値する地域医療に対する事業税の非課税は継続すべき!!

辻 泰弘：診療報酬の事業税非課税問題。医療は健診や学校医など地域貢献。非課税継続は当然。
医政局長：高い公共性のため非課税。近年医療機関の経営厳しい。今後とも非課税存続に努力。

◎ 医療・介護の需要に対応するために必要な負担について国民の理解を!!

辻 泰弘：医療・介護の経費必要。行財政改革しても残る。負担増への理解を逃がずに訴えよ。
細川 大臣：社会保障は国民の安心を支える社会の基盤。真に必要な負担について丁寧に説明。

上記の議事録速報版および本号は下記のホームページに掲載済。ご意見はお気軽に下記へ!